

おおたにこうしょう もんしゅ おうじょう 大谷光照前ご門主ご往生



『本願寺新報』2002.6.20号より転載

去る六月十四日、浄土真宗本願寺派前ご門主(大谷光照さん)が満九十歳でご往生されました。法号は釈勝如(院号は信誓院)。一九二七(昭和二)年から第二十二代門主に就任、六十五才の退任まで激動の五〇年間(歴代最長)を門主としてつとめられました。十四日に第一通夜、十五日には納棺勤行と第二通夜、十六日に第二通夜、十七日に荼毘式が行われました。(関連記事は四頁)

葬儀は、七月十八日午後二時から本願寺総御堂で行われます。

西教寺報

第89号

仏歴2546(2002・平成14)年
6月30日発行
呉市中央7-7-13
西教寺蔵本通支坊
TEL0823(21)2798
FAX0823(21)2795
郵便振替番号
01340-3-29117

紙 面

- 大谷光照前(門主)ご往生 1
- ご本尊さまを一日も早くご本堂へ 2
- 新総代・新世話人：岩崎正衛(住職) 1
- 仏式結納式を終えて：厚井輝夫・真琴 3
- 前ご門主葬儀関連情報：佐藤秀雄さん 4
- 佐藤秀雄さん仏教伝道功労賞受賞：仏教伝道協会 4
- ご入学・ご誕生おめでとう：4
- 市制百年花まつり盛大に：7
- 敬悼録：連研第一期修了：7
- 小水長流石を穿つ：久保田利数 8
- 誓子の日記：岩崎誓子 9
- 降誕会とまゐる：9
- お礼：西教寺法座と例会のご案内：9
- 西教寺法座と例会のご案内：10

ほんぞん ご本尊さまを 一日も早くご本堂へ！

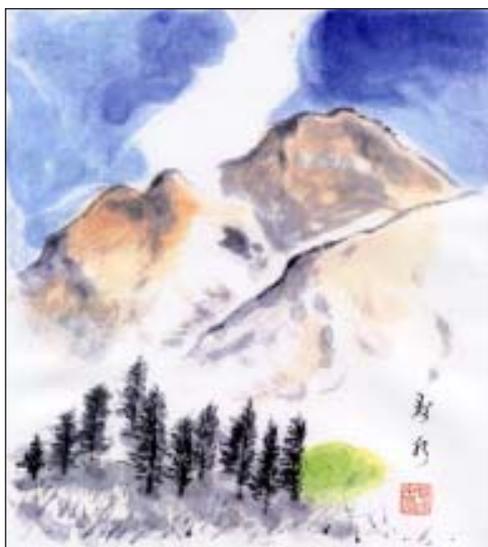
岩崎 正衛(住職)

この歌を口ずさみながら、西教寺のご本尊一尺一寸の小さなアミダさまをおがみますと、まことにをゆび(小指)の先に、初夏のそよ風が当たって「ア、

はつなつのかげとなりぬと
みほとけは
をゆびのうれに
ほのしらすらし

会津八一
(一八八〇～一九五六)
うれ：はし・端のこと

筆者は、毎年六月になるとこの歌をはずむような心持ちで思い出します。作者の会津八一は、一九〇八年(明治四十一年)初めて奈



絵・堀岡春三さん

良の古寺を巡礼し、奈良帝室博物館でこの歌を詠まれたそうです。よい気候がやって来たものだ」とほほえんでいられるかのように思えます。

キリスト教やイスラム教では描いたり刻んだりした神さまの姿を偶像崇拜として嫌うのだそうですね。仏教でも自力聖門の立派な聖者方は具体的な仏像や浄土の姿を思い浮かべるのではなく、真如さとりそのものを心に描いてそれと一体となるところをさとりとするのだといういわゆる無相離念の観法を最上の修行方法だとされていま

新総代・新世話人

— 私たちがお世話をします —

青木尚さんの後空席であつた長ノ木地区総代に向田敏明さん、畷原地区総代は畷内トキコさんの後を継いで畷内正彦さんがお世話を下さることにになりました。三津田地区総代は、現総代に加え、中田貢さんが増員になりました。また、東辰川地区のお世話下さった脇田

押することを否定する教えではありせん。形あるものを大切にすることを通して仏さまのお心に触れるのです。インドのマザーテレサさんは「人間だれでも、私はみんなから見捨てられているのだ、私のことを思ってくれる人はだれもないのだ」と思うほどさびしいことはないと言

言、路傍に寝ころんでいる病人に「私たちがあなたのことを思っていますよ、また神さまが守っていてくださいますよ」となぐさめることをばすかけ、自分たちの経営している病舎へ運んだといわれま

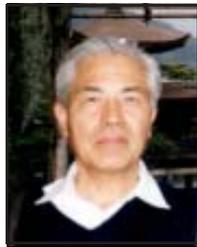
する病院「死を待つ人々の家」を參觀しましたが、世界中からボランティアの男女が集つて献身的な看護をしておられるのを見て、感動したことです。アマタさまのお心とはこのようにどんなことがあつても私と一緒になつて共に苦しみ悩んでくださる大悲のお心であります。また、アマタさまのお心とは、大智のお心でもあります。由業より「アマタさまは見てくださる」と表現してきましました。故桐溪順翁上は「私は、はじめて見ているぞ、聞いていますぞ、知っているぞ」と表現していましたが、これでは他律的であつて、やっぱり「見て



中田貢さん



向田敏明さん



畷内正彦さん



日留田紀子さん



向井茉莉子さん



向井博子さん

「見る、聞いてくださる、知つてくださる」ですねと仰言いました。これは、アマタさまを自分の外に、監視者のように見た言葉ではなかつた、これは智慧の光に照された者の痛みを表現した言葉、つまりアマタさまに私の内側の偽らざる姿を照らされ知らされた、恥ずかしいとか浅ましいとかいう内面的自覚を表現した言葉であつて、他律というよりもむしろ自律的な言葉でしたという意味でしょう。それにつけても毎日、新聞テレビをにぎわすこの風、日本の要路に立つた人たちの無責任さはどうでしょう。官僚も政治家も警察も、経済界の人たちも、とんでもないことを仕出かして、しかも保身に汲々としています。アマタさまを心にいただいて、仏教徒としての自覚のもとに、自律的な言動がしたいものです。

とござい、いよいよ西教寺本堂修復事業がはじまりました。修復委員会、総代会の決議を経て、総工費一億三千万円の募財が開始されました。長引く不況に加え、昨年三月二十四日の荻野大地震により、西教寺門信徒すべての方々が被害を受けられ、中には永年住み慣れた故地を立ち退かれた人もあります。このような事情から、この度は本堂基礎の修復と屋根替えだけという本堂に基本線だけに限った修復と決定いたしました。

修復を始める前に、今回皆さんにお尋ねをいたしましたところ、私どもが把握していた以上に甚大な被害を受けられた方が多かったことが分かりました。それでも皆さんにご負担をお願いしますこと誠に申し訳なく、恐縮していることあります。しかし、そのような中でも、皆さんが精一杯のお気持ちをお示し下さったこと、誠に嬉しく深く感謝している次第であります。

西教寺近辺のお世話人の守備範囲である十八地区からの公募はすでにあらかた終わりました。遠隔地の門徒は、この西教寺報と一緒に、修復のお願い、住職の趣意書、申込書等をお送りしますので、お力添えの程、何卒宜しくお願いいたします。

十五年前の募財に引き続いての今回の募財は、まさに恐縮でございますが、いま表裏裡進徳殿にいらつしやるあの小さなアミダさまをはじめ五尊さまが、本堂へお帰りにいただけるよう皆さまのご普請を心からお願ひするものでございます。

修復に関する詳しい情報 各西教寺本堂に設置 FAXを希望(0823-21-2798までご連絡ください) インターネットhttp://www.ttec.co.jp/~chinei63/temple-contents.htm/hondou

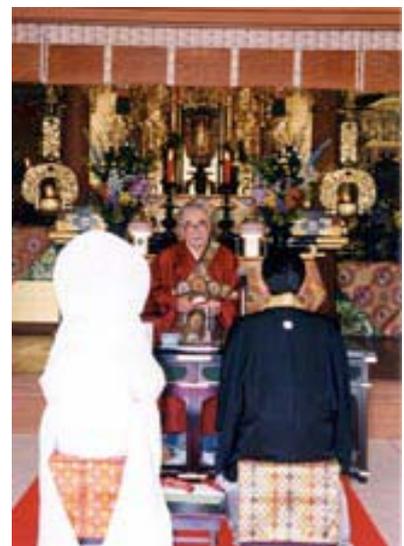


ぶつしきけつこんしき お 仏式結婚式を終えて

去る三月三十一日、厚井輝夫さん、増本真琴さんが蔵本通支坊本堂で仏前結婚式を挙げられました。とても明るいお二人にひと言、ご感想をお願いしました。

二〇〇二年三月三十一日 通支坊の岩崎智寧さんから 仏前にて結婚式を挙げました厚井です。この度「結婚式について手記を書いてください」との西教寺蔵本

と思われる方が多いと思います。当方共、いくつかの結婚式に出席しました。その中で「チャペルも飽きたし神前もよく解らないし、人前もこれってトコないし、なん



ご法話を聞くお2人

か他にないかなあ...」って考えていたところに、ふと仏式もあるぞと。西教寺』と決めていましたけどね。

二人揃って蔵本通支坊へ行った時に、大方の方法、必要な物をチェックし、式次第を眺めながら、とまたく知らない見たこともない結婚式なのに、なぜか二人共落ち着いていました。「あんまりムスカしくないぞ」と思ったからですかね。それとも智寧さんの人柄でしょうかね。一回目の打ち合わせの時点で、式次第等の流れを決めました。時間的なものがあつたりで指輪なし、

前ご門主葬儀関連情報

広島別院（広島市中区寺町）
 本堂に記帳所が設けられています。
 18日は10時より葬儀が行われます。

インターネット
 葬儀の様子は生中継される予定。
<http://www.hongwanji.or.jp/>

安芸南組
 バスによる日帰り団体参拝
 日程 7月18日(木)
 6時：呉駅発/12時：本願寺着
 13時：葬儀/15時30分：本願寺
 発/21時30分：呉駅着
 費用 10,000円 交通費・昼食代・葬儀
 懇志5000円を含む
 申込・問合せ先
 安芸南組各寺院
 〆切 7月6日(土)

親族紹介なし、祝杯なしなど、カットしたところもありましたが、あまり悩まないうでどんどん決めちゃいました。この頃には衣装も決まり、ホテルでの披露宴の方の話も大体決めていました。移動がありますから時間に追われるのは覚悟していました。ホテルまで早くても遅くても大丈夫ならいいの余裕等、考える事がいっぱいありました。

一回目の打ち合わせでリハーサルのリハーサルをやってみました。湯村(法務員)さんに音楽を流してもらい、歩き方を確認しながら進行表とにらめっこしながらみんな盛り上がりつつありました。

二つで一つ不明な点が御布施です。一体いくらなのか全く見当がつかず「葬儀くらいでいいのかな?」なんて二人で悩んでみましたが、思い切つてきいてみることにしました。必要経費ですから、それぞれ出し合わなくてはなりません。の。門徒とかそうでないとかあるかもしれません。司婚・司会・PA等、いそがしい中でやっていただくわ

けでしょ。目安がわからないうものはちよつと悩ましかつたですね。

前日までに、御布施や御膳料・餅代・念珠代などを準備しました。「ボラントイアですから」って云われて「はい、そうですかならば無料で」なんて言えませんからね。資料をつくつていただいたり、打ち合わせの時間をとっていただいたりですから。あんまりたくさん用意はできませんでしたけどね。

前日は、内陣の具足の花や庫裏の花、門標などの準備をしました。とにかく花は、ゴージャスになりすぎぬよう、派手な仏花に見えるように。難しいですよ。でもこれは当方等の趣味でやらせていただきました。リハーサルは即OK。明日には失敗はないと思いましたが、だつて失敗するところ



は誓いの言葉の息が合わないうつてぐらゐのモンでしょから。

当日は、二人共ホテルから親族とバスで寺入りしました。新郎は両親の間を走り回り、控室ではなにも

できず、新婦のところまで、また親族とスタッフの間を進行確認の為に走り回っておりまして。新婦は白無垢で動けない…。仕切る人を頼めばよかったのよね。

式の最中は順調でした。小さな子供が少し暴れていましたが、皆いつ終わるものやら、自分たちも何かするのかしらなんて、ハラハラしていたそうです。

一応「座ってるだけでいいよ」とは伝えてあつたんですが、初めての体験の方が多かつたせいですかね。

集合写真の際は、スタッフ他、手の空いている親族が手伝つてくださり大変助かりました。そして披露宴会場へ移動。その前に友人等が見物に来てくれました。花束をいただきたい、一緒に写真を撮つたり、替わつたりと短い時間の中とても嬉しいものでした。ただスタッフの方や寺の方と写真が撮れなかったのが残念でした。

後日、見物に来てくれた友人親子いわく、「神式の訳のわかんない言葉聞くよ

りも仏式の方が解るよね」「すごいよかったよ。チャペルよりも断然いいよね」って、お母さんと二人で大興奮でね、お父さんほっばらかしてキヤーカーやつてたよ。」とのこと。ここに仏式ファンができました。

この結婚式が全てうまくいったのは、当方等よりも両家よりも、西教寺の皆さんがめっちゃめっちゃノリノリだったのが一番でしょうかね。私共二人の為に力を貸してくださった事だと思えます。ありがとうございます。

これから結婚される方、仏前結婚式もいいですよ。教会やチャペルや神社もありますよ、お寺もありですよ。寺は葬式や法事だけじゃありませんことよ。なかなかの評判でしたから。

2002.4.5 W じい

佐藤秀雄さん 仏教伝道功労賞受賞

去る三月十四日、佐藤秀雄さんは財団法人仏教伝道協会(沼田智秀会長・信楽峻理事長)が仏教伝道に貢献した人物に贈っている仏教伝道功労賞を受賞されました。

一九〇七(明治四十)年生まれ、現在九十四才の佐藤さんは、お寺(蔵本通支坊)でお聴聞をする母に抱かれてもの心がついたという事です。学生時代に、近角常観(強烈な弥陀信仰の鼓吹者として知られ、真宗大谷派宗門改革に尽力した)の歎異抄講座を通して大乘至極の真宗と出会い、その後、藤秀翠(「歎異抄講讀」で有名)に師事。

一九八二(昭和五十七)年には『藤秀翠選集』八巻を刊行、藤秀翠先生を偲ぶ会会長でもあります。また、広島県総務部長、広島テレビ放送社長を歴任され、一九八二(昭和五十七)年には、教育界に多くの人材を輩出しながらも、戦後途絶えていた財団法人広島大学仏教青年会の設立に尽力され、同会館ならびに付属図書館の建立に貢献されました。

九八二(昭和五十七)年には『藤秀翠選集』八巻を刊行、藤秀翠先生を偲ぶ会会長でもあります。また、広島県総務部長、広島テレビ放送社長を歴任され、一九八二(昭和五十七)年には、教育界に多くの人材を輩出しながらも、戦後途絶えていた財団法人広島大学

仏教青年会の設立に尽力され、同会館ならびに付属図書館の建立に貢献されました。

た。このような仏教文化の伝承・普及活動が評価され、信楽峻理事長より賞状と副賞五百万円、銀杯が贈られました。

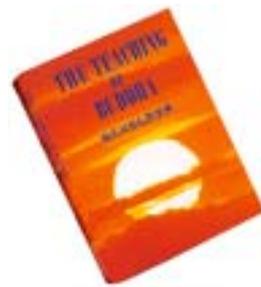
私(編集者)は、授賞式があつたのは知っていましたが、受賞された方がご門徒であるなんてことは思いませんでした。法事の際、お仏壇に仏教伝道協会の冊子がお供えしてあるのを不思議に思いお尋ねして判明したような次第です。

現在には異にはいらつしやらないのですが「私は西教寺の門徒です」とおっしゃっているとのこと。嬉しいような、申し訳ないような。



佐藤秀雄さん

あまり知られていないけどスゴイことしている
仏教伝道協会



ホテルに泊まった時、ベットの脇に置いてある、このような太陽の表紙の書籍「仏教聖典」を一覧になられたことがありでしょうか?この書籍を世界の主要ホテルの客室・病院などの施設に寄贈常備している団体が仏教伝道協会です。(株)ミットヨ(呉にもありますね)創業者の沼田恵範さんにより設立され、仏教聖典の現代語訳・外国語訳(現在は四十一ヶ国語)とその普及・常備(その他大蔵経(全てのお経)の英訳とその刊行を手がけています。また、世界主要大学(ハーバード大学・オックスフォード大など十四大学)に仏教講座を開講、留学生の育成(奨学金など)、伝道拠点の拡充(ドイツ・つくば市など)、仏教伝道文化賞の贈呈、仏教音楽の現代化とその普及、寺院運営および日曜学校・幼稚園・保育園・学校の宗教教育の一助など、宗派を超え現代的世界的視点で幅広く活動しているのです。



東京都港区にある仏教伝道センタービル <http://www.mitutoyo.co.jp/jpn/culture/bdk/>

ご入学・お誕生おめでとう

-広島市内や焼山からも参加-



新聞に載せる記事、ご意見
ご感想をお待ちしています。

〒737-0051

呉市中央7-7-13

西教寺蔵本通支坊

西教寺報編集局 宛

FAX (0823) 21-2795

Email chinei63@enjoy.ne.jp



福光将仁 空井美咲
樋口健太 二井内千尋
大洲一星 (順不同・敬称略)

【第三十六回初参式】

武藤圭太 北舛 峻
岩崎 慧 原 智裕
岩本吉史 西之原莉佳
若宮晶子 大沢寛菜

【第十回入学報告式】

新尾拓也 川野花織
尾川大和 伊藤加英



呉市制百年記念

花まつり盛大に

去る四月六日、呉市制百周年を記念して、安芸南組五十四ヶ支合同の花まつり(お釈迦さまのお誕生日・四月八日)が盛大に行われました。総勢二百五十名を超える稚児が西教寺蔵本通支坊・本願寺会館・堅徳寺から出発し、体育館に集結して記念法要が行われました。西教寺から



保護者も加わって大行列になった稚児行列(蔵本通り)

は、三十七名が参加しました。司会はテレビでお馴染みの西田篤史さん、記念法要では広島音楽会による珍しい舞楽「アトラクション」は、売り出し中の内田貴光さんのスパーイリユージョンマジックショーなどがありました。午後からは、呉市民会館に場所を移して、『蓮如』『他力』

など、真宗に関連する意欲的な作品を発表している直木寛作(いすきひろくさく)さん、家五木寛之(いけのぎのり)さんの講演会がありました。また、今回無料で配布されたパンフレットには、昭和初期から現在に至るまでの呉近辺の花まつりの紹介や、イラストでお釈迦さまのご一生などが紹介されました。

敬悼録

四月	西辰川二 沖縄眞那覇市 畝原町 西中央五 西片山町 南辰川町 東三津田町 内神町 西辰川一	三月	延広 満里子 水口 義孝 伊勢田貢 青木 ツキエ 河崎 シケコ 二十歩 繁雄 大世渡 コシマ 河崎 孝子 中道 高雄
五百 西愛宕町 十三日 三條三	瀬尾 昇 石田 文字	八七歳 八三歳	

四月	下山田町 和庄一 上内神町 東片山町 二条四 川崎市 広島市
五百 八百	廿九日 西谷町 廿日 三條一 廿日 東愛宕町

五月	二井谷 静子 大村 豊子 池崎 泰治 本片山 豊子 形岡 フミ子 檜高 稟代 音藤 美和子	五月	小栗 正巳 坂本 正徳 打越 英治
(敬称略・年齢は数え年)	七八歳 五〇歳 六七歳 八一歳 八六歳 八三歳 七六歳	八九歳 四二歳 六三歳	



体育館前の駐車場でパチリ



連研第一期終了

数人のグループに分かれて行う「話し合い法座」が中心の「連研（連続研修の略）」第一期が終了し、西教寺から参加した次の十一名が修了しました。

折出笹美・佐々木兼吉
佐藤園江・重村式子
筒本洋子・富中博
松垣篤子・松和田直信
水野上敬子・三宅秋子
御堂丸幸子（順不同敬称略）

ろして休み居たる時、雨雫の落ちかか。何の気なくこれを見つめていた。其石みな雨水に打たれてやや少しばかり窪んでいるように思えた。この時ふと我と我が心をとりのおし、我が懈怠（なまけ心）をくやみ、猛

蓮如さんも：（編集者）
「至りてかたきは石なり、至りてやはらかなるは水なり、水よく石を穿つ、心源もし徹しなば菩提の覚道なにごと成せざらん」といへる古き詞あり。いかに不信なりとも、聴聞を心に入れまうさば、御慈悲にて候ふあひだ、信をうべきなり。ただ仏法は聴聞にきはまることなりと云々。」
『蓮如上人御一代記聞書』

小水長流石を穿つ（明詮僧都）

久保田利数

（元亨釈書）釈明詮は十才ばかりの時、家を出て元興寺に入り法相宗を学ぶ。天性不器用にして、為すことする事すべて退屈の思い生じ永続しなかつた。結局寺を出て、他所へ行くこと思い、支度して出発しようと思われたが、丁度折から雨降り始めたので雨止むのを待として、堂の階段に腰を下

省して曰く「おやおや、こんなことになつてゐるがやわらかな水が、きわめて堅い石に、くぼみをつけるとはどうしたことぞ、これはうます休まず、長い年月をかけてなしたるがため、功をどこしなえに功をつめ積みりしたためである。我

かに愚闇だからとて、こんなことを見ながらやる気を起こさないほど愚かではないぞ」と言つて直ちに部屋にかえり、その所業に精を出すこと、昼夜を通してはげみ、夜の夜を通してはげみ、夜の眠、昼の食事も忘れて精励（げんき）これはげまれたので、高きほまれを得、貞観六（八六四）年に僧都に任ぜられ、同十年五月十六日に終焉を取られた。年六十であつた。

子の日記

「ちよつとええ加減に」の巻

前号では紙面の関係でお休みさせていただきました。今回は、最近「ちよつとええ加減にしてやー」（関西弁）と思つた話を書こうと思ひます。

若院こと智肇さんは、男性としてはどちらかというと穏和な部類にはいると思つています。

しかし、そんな彼もいつたん眠りにはいると話が別です。頼まれたから起こしているのに、さも私が悪いことをしているかのように迷惑そうに起きるので、しかもそのことを憶えていないといつのです。

つい先日のごでした。いつものように三人いる子供のうちの二人と一緒に寝室に行こうとした智肇さんは、私に向かって、「十二時に起こしてくれませんか？」といひました。起こすことを嫌がつている私に遠慮したのでしよつ、
「またひどい言い方をしてしまふかもしれないけど、頼むわ」と念を押して、二階へ上がつて

いきました。

十二時になり起こしにいく事になりました。あれだけ自分で言うて眠ったのだから、今日はすんなり起きるのだからと期待した私が甘かった。誓「おとうさん、おとうさん」軽く

身体を揺する、起きるんでしょ。十一時よ。」

智「...。(眉間にしわを寄せる)」「誓」(少し声を大きくして)「おとうさん。(揺する)」

智「(迷惑そうな怖い顔をして)わかった、わかった。確かに起こしてくれだ。わかった!」

と、声を荒げて迷惑千万といわんばかりの偉そうな言い方。

そこまで言われたらさすがに私も起こす気も失せてしまい退散。勿論、智寧さんは起きてきませんでした。

翌朝、智寧さんは早朝から仕事をしていたようで、起こしてもらえなかった被害者だと思っているらしく不機嫌顔。加害の事実を伝えると、「ほんまに? ほんまに俺そんなこといつてた? ごめん、ごめん。全然憶えてないわ...」と智寧さんは何とも言えない申し訳なさそうな顔になり、頭をかきながら私に謝りました。

昨夜の不条理な気持ち収まら

ず、自分の悪い私も「憶えてない言われたらなあ...」しゃあないなあ(関西弁)「と心の中で許しかけていると、

「ホンマはお母さん、作り話してるんじゃないの?」と一転何もしてないような顔をして、人を疑うような発言。仏教では、知っていて犯す罪より、知らずに犯す罪の方が深いとか...

消えかけた火に油を注いでしまいました。"ちよっとええかんげんにしてやーっ、...二度と起こしてやるもんか!" 堅く心に誓った私でした。

「いつたんえ 降誕会」とまる

今年も親鸞さまのお誕生日である降誕会(五月十一日)が各西教寺でつとまりました。

ながのきほんぼう 長ノ木本坊では、恒例のお抹茶のお接待、三津田支坊では参詣者に無料でお齋がお接待されました。いずれも婦人会のご報告によるもので

三津田支坊の材料は 佐々木佐さんが寄付して下さいました。都会では高額にしないと人

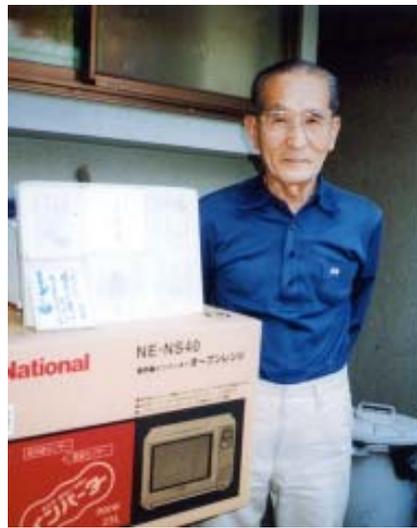


三津田支坊のお齋



ウサギ追いしかの山

が集まらないそうですが、そんな時代だからこそ「無料」ということの意味を味わいたと思います。また、蔵本通支坊では恒例のペンダー



今年特に豪華賞品が揃った。写真は、電子レンジと妙好人源佐の言葉入り皿が当たった本片山数雄さん。

△大会が行われ、日曜学校の生徒を含め、百名を超える参詣者でにぎわいました。

今年には特に、三ヶ寺とも劇団はぐるま座によるミニミニコンサートがあり、参詣者は鍛え上げられた声による歌と詩(峠三吉)の朗読に聞き入りながら、平和について思いをめぐらしました。

お礼



【三津田支坊お供え】 地震で壊れた門扉 佐々木伝さん



【三津田支坊降誕会】 お供えのお餅 臼井哲実さん お齋の材料 佐々木伝さん 【蔵本通支坊ペンダー賞品寄付】

木村綾美・齊藤芳樹・吉中三工・平内田慶子・平本訓子・吉中三工・高須世・井上力又・堀長沖雄・本須賀・スミエ・小堀田・石田・薬局・パナピツ山数雄・小田原・江延・國子・樋口静・福島・真南・堀岡春三・樋口静・福島・真南・崎崎ヤラ・橋詰サトウ・多田大樹・村高志・岩崎遊(順不同敬称略)

【寺報へ寄付】

梶本恵美子(太宰府市) 久保田和子(さいたま市) 勝本敏正(いわき市) 松本ミサヨ(千葉県花見川区) 松山静香(広島市) 水口光昭(呉市) (敬称略)

【土曜日曜学校へ】 吉中武雄さん・高須三三さん ベン(童話など) 濱中篤美さん

【有不法案反対署名】 約百五十名がご署名下さいました